大腸がん検診受診について（市町村担当者用）

　　　　　　　　　　　　　　　　　※受診希望の方からの問い合わせの際に参考にしてください。

**＜便の検体としての有効性・有効期間・採便等について＞**

**Ｑ１：検体提出の4日前に便の採取を行ったが検査は可能か。**

**冷蔵庫で保存してあった場合、最大前の検体まで検査可能か。**

Ａ１：冷蔵保存で10日程度の安定性が確認されていますが、受診者の方がどのように保存されているか確認できませんので、受診者の方には現行のように回収日の直前に採便していただくようご指導をお願いします。

**Ｑ２：胃がん検診を受けた後の便を提出してよいか。**

Ａ２：バリウム便でも測定は可能で、免疫反応にも問題ありません。しかし通常の状態の便ではないので、できれば別の日に採取していただきたい。

**Ｑ３：摘便したものを採便してよいか。**

　Ａ３：便潜血検査は、腸を通ってきた便の表面に血液が付いて、その表面をなぞるように採便したものを検査していますので、肛門から直接採った検体は検査に適さないと思われます。

　**Ｑ４：便が硬くこすり取れない場合、どのようにしたらよいか。**

　Ａ４：硬い便について、検体のヘモグロビン濃度が薄まるおそれがあるため、多くの水を混ぜることはお勧めできません。できれば適性な便が出た日に実施していただきたいと思います。

**＜指定の日に採便できない場合について＞**

　**Ｑ５：便秘で指定の日に採便できない、通常服用している便秘薬を飲んで採便してよいか**。

　Ａ５：便秘薬を飲んで採便して問題ありません。

**＜消化器系の病気がある場合について＞**

**Ｑ６：痔のある人は、大腸がん検診を受けない方がよいか。**

**Ａ６：**痔のある方が、出血は痔のせいと決めつけると危険です。

　　　　 検診で陽性になった場合、必ず医療機関を受診していただきたいと思います。

**Ｑ７：潰瘍性大腸炎、大腸ポリープと言われている方への対応、説明について、基本的には**

**医療機関で受診、経過を見ていただくよう説明する必要があると思われるが、受診を**

**希望する場合の対応、注意することなど**

Ａ７: 主治医のもとでの定期的な検査をすすめてください。

**＜採便容器について＞**

**Ｑ８：記入スペースがもう少し大きく、文字がにじみにくい材質にすることは可能か。**

　Ａ８：採便容器の記入スペースを大きく、にじみにくい材質に、というご要望はメーカーに伝えています。検討中ということですが、字がにじむ問題については水性ペン以外（えんぴつ、ボールペン、油性ペンなど）を使用していただくと良いと思います。